

平成25年 第2回帯広市教育委員会会議録

1. 平成25年2月12日火曜日 10時 ～ 11時50分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教育委員長	田 中 厚 一
教育委員	市之川 敦 子
教育委員	門 屋 充 郎
教育委員	伊 藤 成 昭
教 育 長	八 鍬 祐 子

3. 本日の議事日程

- | | |
|--------|--|
| 日程第 1 | 会議録署名委員の指名について |
| 日程第 2 | 報告第 2 号 平成 24 年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動
奨励賞について |
| 日程第 3 | その他 (1) 今後の事業予定について
その他 (2) 寄附受納について
その他 |
| 日程第 4 | 議案第 5 号 平成 24 年度帯広市一般会計補正予算について【非公開】 |
| 日程第 5 | 議案第 6 号 平成 25 年度帯広市教育行政執行方針について【非公開】 |
| 日程第 6 | 議案第 7 号 平成 25 年度帯広市一般会計予算について【非公開】 |
| 日程第 7 | 議案第 8 号 帯広市教育委員会教育長給与等条例の一部改正について【非公開】 |
| 日程第 8 | 議案第 9 号 帯広市職員定数条例の一部改正について【非公開】 |
| 日程第 9 | 議案第 10 号 教員の人事内申について【秘密会】 |
| 日程第 10 | 議案第 11 号 教職員の処分内申について【秘密会】 |

田中委員長

これから、平成25年第2回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(野原課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、市之川委員及び伊藤委員を指名いたします。

日程第2、報告第2号、平成24年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

須貝 部長

報告第2号、平成24年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞の決定についてご説明申し上げます。議案書は44ページでございます。はじめに帯広市教育研究実践表彰は教育研究及び教育実践に優れた業績を上げた学校や団体、個人を表彰する制度として昭和54年度に発足したものであり、平成23年度までの33年間で65団体、24個人を表彰しております。平成24年度も推薦をもとに選考の結果、団体では帯広市立大空中学校、個人では帯広市立啓北小学校、小澤多加子教諭、以上1団体、1個人に決定いたしました。帯広市立大空中学校は校内でのプロジェクトチームを立ち上げ、生徒の変容に迫る具体的な方策を組織的に立案し実践を行っております。生徒の生活リズムに着目した自己管理ノートを作成し、全校生徒が活用することで、学習意欲の向上や生活習慣の改善を図るなど、全教職員が一丸となり、着実な教育実践に努めており、本市の学校教育の充実に寄与したものでございます。次に啓北小学校の小澤多加子教諭は教務主任として、豊かな経験をもとに組織的な業務改善を図り、教育実践を行うとともに、教育委員会で組織する学力向上推進プロジェクトチームの一員として、帯広市教育計画及び帯広市学校教育指導の重点を受け、実践を行うなど本市全体の教育の充実に貢献したことが評価されたものでございます。次に帯広市学校文化活動奨励賞は学校教育において、優れた文化活動を行った団体や個人を表彰する制度として、平成2年度に発足したものであり、平成23年度までの22年間で54団体54個人を表彰しております。平成24年度も選考の結果、お手元の資料にございますように、団体の部では、第65回全日本学校音楽コンクール全国大会において、文部科学大臣賞を受賞した北海道帯広三条高等学校合唱部、第6回全国高校生食育王選手権大会において、優秀賞を受賞した帯広南商業高等学校クッキング部、個人の部では、文部科学省平成24年度科学技術白書表紙絵デザインコンクールにおいて、優秀賞を受賞した帯広市立緑丘小学校6年生、菅野裕進さ

ん、第36回子ども絵画コンクールにおいて、銀賞を受賞した帯広市立緑丘小学校6年生、瀧澤友里さん、以上2団体、2個人に決定いたしました。なお、教育研究実践表彰の表彰式につきましては、学校に出向いて表彰することとし、学校文化活動奨励賞の表彰につきましては、個別に教育長室にお招きし、ねぎらいの言葉をかけながら表彰する形式をとっており、今後日程の調整を行う予定でございます。報告は以上でございます。

田中委員長
門屋 委員
村松 室長

これから質疑に入ります。

小澤先生は何年くらいの経験がありますか。

今、正確な情報を持っていないのですが、教職経験数が27年か28年のベテランの先生です。

市之川委員

大空中学校のオリジナルシステム手帳を作成し、いろいろと改善に臨んだということですが、これは今年初めてのことなのか、それとも以前から行っていたことなのか。

村松 室長

生徒の課題ということで様々な取り組みはしておりますが、このシステム手帳は別名、飛翔ノートという形で、全校生徒で取り組みを始めたのは今年度4月スタートと聞いております。

市之川委員
田中委員長

分かりました。

他になれば質疑を終結し、本件を終了します。

日程第3、その他に入ります。

その他(1)今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

村松 室長

学校教育指導室の3月の事業予定についてご説明いたします。生徒指導総合連携推進委員会総会が3月1日14時から市役所第6会議室で行われます。本市が組織しております、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会の上部機関ということで実施しているものです。目的としましては、平成24年度に実施したいじめや不登校、非行防止等に関する取り組みについて話し合いながら、25年度に向けての改善や方向を検討していくものでございます。対象については、生徒指導総合連携推進委員、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員の合計40名で行われるものです。

早川 所長

教育研究所からご説明いたします。1つ目は、今年度第2回目、学校支援地域本部事業運営委員会でございます。3月18日15時から、学校支援本部事業を円滑に実施するため、体制づくりを推進するために運営委員会を開催するものでございます。2つ目は、今年度2回目の教育研究所運営委員会でございます。3月18日17時から、帯広市教育研究所条例及び同条例施行規則に基づき、運営委員会を開催するものでございます。今年度の研究成果について報告するとともに、次年度以降の研究所のあり方等についてご意見をいただく予定となっております。

西尾 主幹

スポーツ振興室から3点ご説明いたします。2013十勝大平原クロスカントリー大会を3月3日日曜日、帯広市岩内仙峡、八千代、芽室、幕別地区も含めた広い範囲で行われます。スタート・ゴール地点は岩内仙峡区にあります、TBK・日立オートモティブシステムズの敷地をお借りいたします。最長距離58kmの競技者向けから、初心者向けの5kmまでのコースを設定しております。現在600名の参加者を予定してございます。続きまして、明治北海道十勝オーバルクローズ無料開放について、3月3日9時から22時まで、リンクの個人利用分を無料開放いたします。次に第20回市民ゴルゲート大会を3月16日9時半から帯広市総合体育館で行われます。帯広市で生まれたニュースポーツのゴルゲートという種目がございまして、その市民大会ということですが、現在参加者受け付け中でございます。

鈴木 課長

文化課から2つご説明いたします。子どもための音楽ワークショップ、アーツ室内オーケストラのメンバーによる指導になります。3月13日16時30分から17時30分、市民文化ホールリハーサル室ほかで実施いたします。幼稚園年中から中学校3年生までの初心者、未経験者を対象とした弦楽器のワークショップとなります。2つ目、幼児向けプチコンサートを3月15日10時30分から市民文化ホール小ホールで行われます。未就学児とその親を対象とした子ども向けのコンサートで、マリンバ奏者の野田美佳さんを招いたプチコンサートでございます。普通はクラシックコンサートに泣いたりするのでお子さんは入れないものが多いのですが、今回はお子さんを中心にふれあいを大事にした演奏会でございます。

吉田 館長

図書館から事業を5つご案内いたします。今年3月3日で図書館が満7歳の誕生日を迎えます。毎年3月3日に友の会の方から子ども向けの事業ということで、おひなまつりのおはなし会ひなまつりスペシャルを11時から実施していただき、横浜ミエさんが今西祐行さんの作品を語るということで、大人を対象としたおはなし会を14時から実施していただきます。それから、語り手育成講習会、よちよち編として、0歳から3歳向けのおはなし会を月に2回実施しているのですが、こちらの参加者が非常に多くて、事業を継続していくにあたって、おはなし会の語り手を増やしたいということで、0から3歳児が喜ぶ絵本や手あそび、歌あそびを紹介する講習会を実施するものです。3月6日に実践編、3月13日に実際におはなし会の形などを見ていただこうと思っております。それから、帯広畜産大学との連携事業で3月13日に帯広畜産大学CALL教室を使いまして、パソコンを始める方、初心者向けのインターネット・パソコンの講習会を開催いたします。48ページになります。はり絵ハガキを作ってみませんかという事業です。帯広でハガキを台紙

にして包装紙などではり絵を作っている方がいらっしやいまして、ある日突然、図書館のカウンターにいらっしやいまして、私はこんなものを作っているのですけれど、これを皆さんに紹介できる方法はないかご相談がありました。作品は花さかじいさん、笠地藏、桃太郎など、昔話のおもしろいはり絵をたくさん作っていらっしやいまして、この作品の名前がないということでしたので、はり絵ハガキと名づけて、作品展示と講習会もいっしょにしましょうということで、3月16日にはり絵ハガキの講習会を開催させていただきます。

北沢 館長

百年記念館から事業を3件ご紹介いたします。まず、新着資料展ということで、今回初めての試みでありますけれど、平成23年度以降に当館に寄贈されました、あるいは収集いたしました生活・歴史・自然史等の資料等を3月2日から24日まで開催するものでございます。次にロビー展を3月9日から31日まで開催いたします。12月まで公募しておりました、百年記念館公募写真展で今年3回目になります。24年度に撮影した十勝の様々な写真で20点ほど集まっております。次に3月16日、博物館講座、大昔のとかちということで、平成24年度の十勝の考古学情報を紹介する講座を開催いたします。

高橋 園長

動物園からは1件ご紹介させていただきます。2月24日をもって冬期開園が終了しております。閉園期間中の動物たちの様子を見学してもらおうという企画で、3月2、3日14時から15時30分まで、冬ならではの活発な様子や南方系の動物が早めに動物舎で過ごすこともあり、なかなか見る機会がないものですから、室内での様子を見ていただくというものです。以上です。

田中委員長
各 委 員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になれば、質疑を終結し、本件を終了いたします。

その他(2)寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

北沢 館長

百年記念館から寄附1件をご報告いたします。帯広市在住の〇〇〇〇様から国鉄関係、古い農家、アイヌ関係等のリバーサル写真、白黒写真合計197点を平成25年2月1日にご寄附いただきました。資料として保存活用してまいりたいと考えております。

田中委員長
田中委員長

これから質疑に入ります。

私から1点お聞きします。〇〇〇〇さんの写真はいつから公開する予定でしょうか。

北沢 館長

リバーサル写真については資料としてということですが、何点かは3月の新着資料展で紹介できると考えております。

田中委員長

分かりました。

田中委員長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局からその他説明事項はありますか。

事務局

ありません。

田中委員長

ここで会議の進め方についてお諮りいたします。次の日程第4から日程第8の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第4号により非公開に、また日程第9及び日程第10の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第2号により、秘密会にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、そのとおり取り扱いたいします。

これより会議を非公開といたします。

日程第4、議案第5号、平成24年度帯広市一般会計補正予算についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

須貝 部長

議案第5号、平成24年度帯広市一般会計補正予算についてご説明申し上げます。本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を聴こうとするものであります。資料にはございませんが、教育費に関わる3月補正予算額は、総額28億2,404万8千円であり、補正後の予算額は、総額77億3,366万円になります。補正予算の詳細につきまして事業別内訳書によりご説明申し上げます。議案書2ページをご覧ください。はじめに学校教育関係でございますが、小中学校の学校施設耐震化事業費につきましては、国の予備費によりまして、柏小・緑丘小・北栄小・東小・稲田小・若葉小学校の6校におきまして、国の補助採択がされますことから、校舎の耐震補強工事を前倒しし、また、若葉小学校につきましては、耐震補強工事に併せて、トイレの大規模改修を実施するものでございます。事業費として2億7,421万5千円を計上してございます。なお、これらの事業につきましては、年度内に完了しないことから、繰越明許費を設定するものであります。3ページをご覧ください。栄小学校校舎改築につきましても、国の補正予算におきまして、前倒しをして実施しようとするものでございます。事業費として8億9,872万7千円を計上するものです。この事業につきましては、単年度で完了しないことから、平成25年度までの継続費を設定しておりますが、今回、入札執行減によります年割額及び財源の組替に伴います継続費の一部変更を行うものであります。また、太陽光設置工事費などの事業費の一部は、繰越明許費を設定するものであります。次に学校給食共同調理場管理整備費につきましては、国の補正予算において、前倒しをして実施しようとすることから、事業費

として16億4,777万2千円を計上するものでございます。この事業につきましても、単年度で完了しないことから、平成26年度までの継続費を設定するものであります。4ページは、財源の整理として北海道市町村振興基金の貸付対象となったことにより、地方債の限度額を変更するものであります。次に寄附金関連の補正についてご説明申し上げます。議案書7ページでございます。寄附金とその利息の合計を寄附者のご意向に沿い基金積立とするものであり、教育振興基金積立金につきましても52万1千円、ふるさと文化基金積立金につきましても130万1千円、図書館図書整備基金積立金につきましても148万1千円、スポーツ振興基金積立金につきましても3万1千円を計上するものであります。以上教育費関係の3月補正予算の内容でございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長
門屋 委員

これから質疑に入ります。

国の経済対策があつて、予算がこういう形で付くのでしょうかけれど、市債をこれだけ発行するというので、市債については後々交付税などの形でくるのでしょうかけれども、大体どのくらいなのかお分かりであれば教えてください。

野原 課長

耐震については、今詳しい数字についてはすぐにお話できないのですが、50%から80%程度の交付税措置が入ってくるようになっております。事業によって若干の違いは出てきます。

門屋 委員
伊藤 委員

はい、分かりました。

学校施設の耐震化事業について質問します。ここに挙げられている6校をもって、すべて耐震化が終了するというのでよろしいですか。

植松調整監
伊藤 委員

はい、これですべての学校の耐震化が終了することになります。

外から見ると、例えば若葉小や八中は古く見えるわけですが、部分的な耐震化でいいのか危惧するのですが、改築するという考え方は今後あるのでしょうか。

須貝 部長

今ご指摘のとおり施設全体が古くなってきています。そうした中で改築ということで、今、栄小学校も改築してございますけれども、今後につきましては、少子化の関係や適切な学校配置という部分もございまして、今活用できる施設をリニューアルし、活用していくという方向性が第一ではないかと思っております。ただ、安全対策については、お話にございましたとおり、耐震化だけで完了するというのでは当然ございません。今後、現存施設のリニューアルも含めて計画的に対応を進めていきたいと考えてございます。

市之川委員

寄附金のところで、寄附金の項目全部に財産運用収入千円とついていますが、これはどういったものですか。

植松調整監

財産運用収入につきましては、利息という扱いで、いくらか発生

田中委員長

いたしますので、千円という形で計上させていただいております。
他になれば、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第5号、平成24年度帯広市一般会計補正予算については、
原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第5号は了承されました。

日程第5、議案第6号、平成25年度帯広市教育行政執行方針に
ついてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

須貝 部長

議案第6号 平成25年度帯広市教育行政執行方針についてご説明
申し上げます。議案書9ページをお開きください。本案は、帯広
市教育基本計画の着実な推進に向けて、平成25年度における教育
行政執行の基本的な考え方や取り組みの方向性などを示すもので
ございます。はじめに議案書12ページの目次をご覧ください。本方
針は大きく1. 基本的な考え方、2. 取り組みの方向性、3. 主な取
組みの3つで構成しております。次に13ページでございます。ま
ず、1. 基本的な考え方では、教育を取り巻く社会情勢や東日本大
震災などを背景として、誰もが生涯にわたり学習できる環境づく
りを進めていく必要性や生命の尊さ、生きる力を育む教育の重要性
を認識した上で、個々の課題に適切に対応するとともに、帯広・十
勝の財産や資源を活用し、関係機関や学校・家庭・地域の相互協
力をさらに強い絆に深めていくため、帯広市教育基本計画の基本
理念の実現を目指し、帯広らしい教育を進めていくことを述べて
おります。次に14ページの2. 取り組みの方向性では、帯広市教
育基本計画の2つの基本目標と基本目標を実現するための基盤づく
りに向けた、平成25年度の取り組みの方向性を記載しております。
まず、次代を担う人づくりでは、基礎的・基本的な学力の定着と
豊かな心、健やかな体の育成を図る質の高い教育の推進や市民
の多様な学習ニーズに応える学習機会の充実、学校・家庭・地
域が連携した食育の推進や安全安心で栄養バランスのとれた学
校給食の提供に取り組むことを記載しています。次に15ページ、
ともに学びきずなを育む地域づくりでは、地域における学習活
動の充実やボランティア活動の促進、学習機会の提供など、地
域力を育む環境づくりをすすめるほか、地域の資源を積極的に
活用するとともに、市民が地域づくりや学習活動に主体的に関
わるができる機会の充実に取り組むことを記載しております。次
に、基本目標を実現するための基盤づくりでは、教員の人間力・
指導力の向上や学校・家庭・地域の連携と協力を促進する取
組み、地域における学びの担い手やスポーツ指導者の育成など、
地域全体の教育力の向上を図るほか、学校施設の耐

震化や防犯・防災対策、特別支援教育の充実、新たな学校給食調理場の整備、新たな総合体育館の建設に向けた調査に取り組むことを記載しております。16ページ以降の3. 主な取り組みにおきましては、帯広市教育基本計画の体系に従い、平成25年度の主要事業等を記載しております。説明は以上でございます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

田中委員長
伊藤 委員

これから質疑に入ります。

議案書17ページに、キャリア教育の推進という文言があります。これについては大賛成です。具体的な取り組み、あるいは将来的な取り組みについてお伺いできればと思います。小中学校の場合、現在キャリア教育に関する計画、具体的な指導はどんなものがあるのか、そして、様々な課題もあるかと思いますので、将来的には小中学校におけるキャリア教育の基本的な進め方について、例えば、時間を設定するとか、どこかの教科と合同で行うなどの進め方があると思います。その辺についてお聞きしたいと思います。

村松 室長

小中学校で行われているキャリア教育につきましては、大きくは職業観、勤労観を培うという観点から、小学校、中学校ともに発達段階に応じて指導をしていく形で学習指導要領にも明記されております。しかしながら、キャリア教育自体の教科があるわけではございませんので、それぞれの学校は総合的な学習の時間や学活、特別活動の時間を使いまして、キャリア教育を進めている現状がございます。その中で特に小学校段階では教科の中でという部分もございます。自分を知る、友達を知る、人との係わりから順番に発達段階に応じて、働くことの意義について小学校高学年に向けた取り組みをそれぞれの学校で、国語や社会などの教科での位置づけも含めて、キャリア教育の計画を立てて現在進めているところです。中学校においては、同じく自分を知る、自分の特性を知るという観点からスタートしていきますけれど、最終的には職場体験、職場見学という形で、現在、帯広市内では1日から最高3日間、職場体験を実施している学校があります。地域の特性もございますので、職場体験、職場見学の日程については、各学校の特性において実施していただいております。これを通して高校につながっていていると考えております。以上です。

市之川委員

議案書20ページの④人間を尊重し自然と共生する人づくりの中で、外国語教育のところ、ここに所属してもいいですけど、知識・技能の習得に入れてもいいのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

田中委員長

文言の場所の問題ですが、国際教育に関して④でもいいけれども、①の知識・技能の習得に入れるのはどうかということですが、いかがでしょうか。

村松 室長

今、ご指摘がありましたように、英語教育という観点からすると、確かに知識・理解の部分が非常に大きいのですが、ここで取り上げている部分については、国際理解教育という広い観点からの外国とのつながりやそれを含めた部分を意味していることから、人間尊重という互いに助け合う共生という観点から、ここに位置づけ記載させていただいております。また、外国語活動という部分では、小学校は英語教育だけに限らず、コミュニケーション能力を育成する視点の意味合いも非常に強いものですから、共生という位置づけにさせていただいております。

市之川委員

分かりました。それともう1点、3ページの第二にというところの段落とその下のまたというところは、同じようなことを言っているのかなと思うのですが、学習機会の提供を具体的に文化やスポーツのことを示したのが下の方なのか、同じことのような気もするのですが、どうでしょうか。

敦賀調整監

いずれも、ともに学びきずなを育む地域づくりの活動の一環として記載をさせていただいておりますが、前段は地域での活動、後段は地域の資源を活用した取り組みということでございます。前段の方がどちらかと言えば、地域の方々を主体において、後段は歴史や風土、そして、文化、スポーツなどの地域の資源の価値を活用した利用目的の部分を強調して書かせていただいております。いずれにしても、委員がおっしゃられますように、地域力を育むとか、教育機会の提供ということで、内容的には見る角度が違って表現させていただいているということになるかと思います。

市之川委員

はい、分かりました。

田中委員長

私からも1点お聞きします。先ほど伊藤委員からお話のあったキャリア教育について、今年度、JCが確か緑園中学校だったと思いますが、キャリア教育を連携した形で進めていて、確か教育長もあれば良かったとおっしゃっていたと思いますが、そういう連携の取り組みについて教育委員会としてはどう考えているのか、もしあれば伺いたいと思います。

村松 室長

キャリア教育につきましては、学校の中だけで完結するものではないので、地域の関係機関や商工会議所を含めた機関と十分連携していかなければならないと考えています。今ご質問がありましたJCのキャリア教育につきましては、来年度もJCの方でぜひ行いたいという話もありまして、市内で何校か実施する予定でございます。

田中委員長

ぜひ、積極的に進めていただければいいと思いました。

田中委員長

他になれば、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第6号、平成25年度帯広市教育行政執行方針については、

原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第6号は決定されました。

日程第6、議案第7号、平成25年度帯広市一般会計予算についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

須貝 部長

議案第7号、平成25年度帯広市一般会計予算についてご説明申し上げます。本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を聴こうとするものであります。お手元の追加資料、平成25年度帯広市一般会計予算書、教育費関係分の10ページをお開きいただきたいと思います。平成25年度の一般会計全体の予算につきましては779億1,100万円であり、前年度予算との対比で0.5%の減となっております。次に議案書の29ページから37ページに教育費関係の予算を載せておりますので順にご説明いたします。まず、学校教育部及び生涯学習部を合わせた教育費の平成25年度当初予算総額は32ページの下表にありますように、46億9,475万円となっております。一般会計に占める教育費の割合は6.03%で、前年度当初予算との比較では2億738万2千円の減、率にいたしまして4.2%の減となっておりますが、平成24年度の補正予算から翌年度へ繰越す事業費分28億2,071万4千円を含めますと、平成25年度の合計が75億1,546万4千円となり、前年度対比11億1,120万7千円の増、率にいたしまして17.3%の増となります。それでは、学校教育部関係の予算からご説明させていただきます。議案書31ページをご覧くださいと思います。学校教育部関係の教育費予算総額は28億5,622万円となり、前年度に比べ8,547万9千円の減、率にして2.9%の減となっておりますが、平成24年度の補正予算から翌年度に繰越す事業費28億2,071万4千円を含めますと、前年度対比12億3,311万円の増、率にして27.7%の増となるところでございます。続きまして、平成25年度の学校教育部における主な事業につきまして、お手元に配付の資料、A3版のポンチ絵になりますが、平成25年度学校教育部予算概要によりご説明申し上げます。概要につきましては、帯広市教育基本計画に掲げる2つの基本目標と基本目標を実現するための基盤づくりの体系に従って整理してございます。はじめに、上段左になりますが、次代を担う人づくりでございます。まず、学力・学習意欲を高める教育の推進につきましては、児童生徒に係わる教材教具及び教師用の教科書や指導書の整備を行うほか、少人数指導研究協議会において、効果的な少人数指導について引き続き研究を行います。キャリア教育・職業教育の充実につきましては、南商業高校において、外

部講師の活用や北海道高等学校商業教育フェアへの参加などに引き続き取り組みます。情報化に対応した教育・学習活動の推進につきましては、小学校の教育用コンピュータ機器の老朽化に伴う更新について、2ヵ年計画の2年目でございますが、11校の更新を行うことにより、全小学校の更新が完了するものでございます。また、基礎学力の定着を図るビデオ教材やデータベース教材の作成も進めてまいります。教育相談・生徒指導の推進につきましては、こころの教室相談員や家庭訪問相談員の配置、また、平成24年度までは市費1名、道費1名の体制でございましたスクールソーシャルワーカーにつきましては、市費で引き続き2名を配置し、いじめ・不登校・非行対策など、関係機関との連携を図ってまいります。読書活動の推進につきましては、学校図書館の蔵書を昨年度の倍の予算を計上し、拡大を図るとともに学校図書館活性化支援事業を継続して実施いたします。食育の推進と学校給食の充実につきましては、学校栄養職員による給食指導や、また、新たに配置します食育指導専門員の配置により、学校における食育をより一層推進するほか、地元製品の導入に意を用いながら、引き続き安心安全で栄養バランスのとれた学校給食を提供いたします。グローバル化に対応した教育・学習活動の推進につきましては、小・中学校への国際理解教育指導助手や外国人講師の派遣、南商生の国際理解教育を推進します。次に右側をご覧くださいと思います。ともに学びきずなを育む地域づくりでございます。子どものふるさと教育の推進といたしまして、郷土の自然や産業などに触れる体験学習を実施いたします。アイヌ民族・文化の理解の推進では、アイヌ民族についての理解を促す教材や資料の作成を進めます。続きまして、下段の基本目標を実現するための基盤づくりをご覧くださいと思います。まず、左側でございます。家庭や地域による教育支援の推進といたしまして、学校支援地域本部事業を市内小中学校31校から全40校に拡充いたしますほか、平成24に引き続き、小学校3、4年生向けの職業体験イベントおびひろキッズタウン2013を8月上旬に開催いたします。教員の人間力・指導力の向上につきましては、教員による研究を支援し、その成果の普及を図る個人研究サポートシステムを継続実施するほか、教員ミドルリーダー養成として、外部講師を活用した21世紀教師塾を引き続き開催いたします。次に学校教育施設の環境整備につきましては、学校の耐震化事業といたしまして、先ほどご審議いただきました耐震化、栄小学校の改築の補正予算のほかに、新たな学校給食調理場の整備を行います。続きまして、同じく下段の右側でございます。子どもの安全確保につきましては、見守り活動による通学時の安全確保を図るほか、保護者等への迅速な情報提供を行う子ども安全ネットワークを引き続き運用いたしま

す。特別支援教育の充実につきましては、小学校3校、中学校2校に特別支援学級を新設するほか、学級数の増加に伴う特別支援教育補助員の増員、また、特別支援教育助手、生活介助員を引き続き配置いたします。魅力ある学校づくりの推進につきましては、各学校の独自の企画を通じて、学校としての主体性を高め、人と人とのつながりを一層深める絆を育む学校づくり支援事業を実施いたします。学校間連携の推進といたしまして、中学校区を基本に幼保小中の協議の場として、エリアファミリー構想による取り組みを進め、幼保小中の連携を推進いたします。学校教育部関連の予算概要につきましては以上でございます。

大久保部長

引き続きまして、生涯学習部に係ります平成25年度予算についてご説明いたします。議案書32ページをご覧ください。生涯学習部の予算総額は18億3,853万円で、前年度に比べ金額で1億2,190万3千円、率にしますと6.2%の減となっております。この減額要因につきましては、32ページ中段の※主な増減のうち一番下の部分、体育施設費中、陸上競技場トラック部改修工事の完了が最大の要因であるほか、とかちプラザ費の指定管理料前年度利用料金入金分900万円、同じく市民文化ホール費の指定管理料前年度利用料金入金分1,000万円の減などがございます。これは平成24年度から指定管理者の利用料金制度導入に伴い、平成23年度中に市が受けた平成24年度分の使用料を指定管理者に支払ったものでございますが、平成25年度は支払が生じないため減になったものでございます。次に主な事業につきましては、議案書30ページの右上に生涯学習のマスコットのマナビィのイラストが掲載されておりますA3版の資料、平成25年度生涯学習部予算概要をご覧くださいと思います。整理の仕方といたしましては、学校教育部の資料と同様に教育基本計画に掲げる2つの基本目標と基本目標を実現するための基盤づくりの体系に整理しております。また、各事業の表示の頭の部分に☆印、◎印、そして○印が付してありますが、☆印は、平成25年度の新規事業、◎印は拡充事業、○印は継続事業として表記させていただいております。最初に資料の左上、基本目標の次代を担う人づくりであります。まず、知識・技能の習得では地域教育プラットフォーム事業において、様々な生涯学習に関する情報を広報紙やチラシのほか、ソーシャル・ネットワーキング・システムなどを活用し、幅広く効果的に提供し、更なる学習への動機付けを促していくほか、動物園において、帯広畜産大学との連携を更に強化し、実学実習や共同研究などを進める予算を計上いたしました。次に豊かな心の育成では、平成25年度に50周年を迎える帯広市民劇場が主体となって実施する25年ぶり第2回目となります、おびひろ薪能公演を開催するほか、また、子どもの朝読書や調べ学習な

どに役立つ図書資料をセットで貸し出す、ぶっくーる便などにも引き続き取り組むこととしております。次に健やかな体づくりですが、学習を通じたまちづくり事業において、地域のコミュニティセンター等を会場に開催しているコミュニティ講座やとかちプラザ・エンジョイスクールなどの講座を通じ、子どもから大人まで、幅広い世代が身近な地域でスポーツに親しむことができる機会を提供するほか、平成24年度開拓130年市政施行80年を記念し開催した、フードバレーとかちマラソン大会の継続開催を支援するなど、スポーツの振興に取り組んでまいります。次に資料の右上、ともに学びきずなを育む地域づくりであります。ふるさとの理解の促進では、ふるさとに関する市民の理解を促進するため、市民大学講座やふるさと再訪、博物館講座など、地域に関する講座等を開催するほか、市指定文化財である十勝監獄石油庫の修繕、更には百年記念館企画展などを通じて、地域の歴史や自然、生き物等を再発見し、理解を深めていただく取り組みを進めます。また、きずなづくり・まちづくりにおきましては、市民の活動成果を発表する場として、市民芸術祭を開催するほか、市民オペラ、市民バレエの本格公演に向けた準備の取り組みを支援します。更にはスポーツを通じたまちづくりを進めるため、東日本大震災により影響を受けて、平成23年度から本市での代替開催をしております日本クラブユースサッカー選手権大会の開催を引き続き支援するほか、被災により合宿地の変更を余儀なくされた大学スポーツ部などが本市で合宿をする際の支援を継続するなど、スポーツ大会・合宿の誘致に取り組むものでございます。次に資料の下にございます、基本目標を実現するための基盤づくりであります。学校・家庭・地域の連携では、食や子育てに関する図書資料の整備をし、家庭や学校で活用していただくとともに、百年記念館において親子創作教室を開催するなどの取り組みを進めます。これらの取り組みにあたりましては、家庭や地域との連携を意識しつつ、ボランティアなど市民の方々の協力や各施設職員のマンパワーを活用してまいりたいと考えております。次に教育を支える人材の育成では、地元や国内外で活躍している演奏家やこれから活躍が期待できる新人などの発表の場として、地元出身演奏家公演を開催するほか、幼児期から高校生までのスピードスケート競技の人材を育成する、ほっとドリームプロジェクトを継続してまいります。次に教育環境の充実であります。図書館におきましては、平成24年度に更新した移動図書館バスを活用し、企業巡回などきめ細かな地域サービスの提供のあり方を検討してまいります。また、新たな総合体育館の整備に向け、基本調査を実施するほか、動物園においてアムールトラを導入するとともに、開園50周年の記念事業を実施してまいります。最後によりよい教育のためのしくみづく

りであります。図書館、百年記念館、動物園の当部所管施設に児童会館を加えた生涯学習施設が共通テーマにより利用促進に取り組む、4館連携事業を引き続き進めてまいります。以上が予算概要でございますが、ご説明した事業のうち主要事業の財源内訳、内容につきましては、議案書33ページから37ページに記載してございますので参照いただきたいと思います。議案第7号、平成25年度帯広市一般会計予算教育費関係分の説明は以上でございます。よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

田中委員長
伊藤 委員

これから質疑に入ります。

細かなことなのですが、学校教育部3点と生涯学習部2点、質問と意見を交えてお話ししたいと思います。まず、学校教育部の29ページ、ともに学びきずなを育む地域づくりのところで、体験学習の実施ということですが、キャリア教育もそうなのですが、様々な体験を五感を通じて学習させるということは非常に重要な部分でありますので、この部分を手厚くしていただいていると思います。各学校にもよると思いますが、平成25年度は具体的にどのような体験学習を望んでいるのか、将来像についてお聞きしたいと思います。2つ目は、教育用コンピュータ機器の更新について、児童についてはかなりの台数が充当されているようですが、教員のコンピュータについてはどうなのか。例えば、市役所ではほとんどの机の上に整って、うらやましいなと思いますが、学校では個人のものが非常に多いような気がします。それはそれなりに効果的な活用がされていると思います。将来的には一人一人にコンピュータを配置する計画はないのかお聞きします。3点目は、子どもの安全確保のところ、各学校にさすまたが常備されていると思いますが、学校の現状について、どの程度配置されているのか、将来的な考え方も含めて質問します。それから、30ページの生涯学習部の方で、百年記念館に様々な資料や作品が所蔵されていると思います。展示するのは当然だと思いますが、ジャンル別にディスクか何かに書き込んで、そのディスクを貸し出すのも案ではないかと思いますが、もうされているかもしれませんが、それを見ることによって、現物が展示されたときに改めて見させていただくことも効果的ではないかと思いますが、その辺の展望をお聞きしたいと思います。最後に4館連携に私は非常に興味と関心を持っております。そこでお金を見たら、こんなものでやっているんだと思わせて、それぞれの館の持ち出しが加えられて、ユニークな面としての文化事業を進めていると感じます。この程度でいいのかという気持ちもありますので、将来図も含めてお聞きしたいと思います。

村松 室長

今ご質問にありました体験学習の実施についてでございますが、帯広市の自然や産業に小中学校の時から触れていただきたいと思います。

ことで、このようなふるさと教育の推進をしているものです。体験学習については、小学校においては郷土体験学習、中学校においては自然体験学習を中心としながら、この予算については主に移動費に充てられます。中身については、より児童生徒が自主的に産業への学びの場や自然体験への自主的な係わりを重視しながら、プログラムをいくつか用意しながらやっているわけですがけれども、各学校の柔軟性に任せながら各学校が企画するように改良していくような形で、徐々に変更しながら現在進めているところでございます。

西野 課長

先生方の校務用パソコンの関係ですが、現在2人に1台ということで485台学校に配置しております。約半数程度のパソコンがデスクトップの大きなパソコンで使用年数もかなり経過しております。平成25年度につきましては、指導用と同時に先生方のパソコン約240台程度を先に更新考えております。それ以降についてはまた検討していきたいと考えてございます。

野原 課長

安全確保の関係でお話しがございました、安全棒、さすまたを各校3本程度配置してございますが、中学校にさすまた、小学校には安全棒を配置してございます。新年度予算で新たに増やすという計画は今のところはしてございません。各学校で訓練している状況にございますけれども、学校からも増やしてほしいという話は聞いておりませんが、これからも検討しなければならないと思っております。

北沢 館長

収蔵資料のジャンル別リストを作成して活用する方策はないのかというお話でございしますが、資料管理用としては現在データベース化を進めているところでございまして、一部につきまして、アイヌ文化などにつきましては、活用の道が見えてきて順次行っているところでございしますが、一般に公開してということになると、方法もございまして、作業も膨大になるので順次進めていきたいと考えております。

敦賀調整監

4館連携事業について、思ったより予算が少ないということでございますが、4館の中でそれぞれ独自に取り組んでいる事業、博物館講座などの既存事業を4館連携の中で同じテーマで取り組んでいるものもございまして。特に4館連携事業の予算につきましては、4館連携してPRするためのチラシ、PR手段に係わる印刷経費等について特別に計上させていただいております。この取り組みが新年度から地域にも広がりが出てきておりまして、緑ヶ丘の商店街も参加したいという声も出てきておりますので、面的な広がりも出てきております。これについて詳細が見えてきましたら、行事予定等でお知らせしたいと思います。

田中委員長

4館連携事業については、そうは言っても、やはり8万、16万、29万円では何ができるのかという気もするので、生涯学習分野では

これからかなり大きなポイントを持ってくると思いますので、ぜひ、徐々にでも予算化していただければいいと思って伺っておりました。

市之川委員

予算の全体の概要は前年度と比較して減ということですが、学校教育部と生涯学習部で昨年と比較して、大きく予算が変わった点を教えていただきたいのですが、例えば、学校教育の給食調理場は継続ですが、結構大きいと思いますし、生涯学習部は動物園が開園50周年でトラを導入するというので、大きく動いていると思います。昨年と比べて予算が大きく変わっている点は何の点でしょうか。

植松調整監

先に学校教育部からお話しさせていただきます。ポンチ絵の右中段に改めて別枠で、例年とは変わって今年度特に予算的に配置しているものということで、黒丸で標記させていただいておりますけれども、先ほどコンピュータのお話もありましたが、全小学校のコンピュータが経年化していることもあり、全て更新ということ。図書についても、例年であれば5千冊のところ1万冊購入するというので、学校としての充実に努めること。学校給食で食育指導専門員の1名新規配置ということで、自校式の良さをいかに出していくかということで食育指導専門員を新たに配置して、授業の中で食育を取り上げていく経費を計上させていただいております。先ほど部長からも説明がありましたけれど、スクールソーシャルワーカーの配置について、道費が撤退するというのでございましたけれど、市費でその分を補填し、人材はそのままで継続して配置し、相談体制の継続を図るところが大きなところになります。あと学校地域支援本部につきましても、体制が整いまして40校すべてがそろいましたので、40校の地域支援本部の経費を計上させていただいたところが25年度予算の中で大きく配置した経費でございます。

敦賀調整監

生涯学習関係で平成24年度から25年度で変化したところは、開拓130年市制施行80年の記念事業がすべて消えております。新年度は帯広市民劇場が創立50年ということで、ポンチ絵のところでもご説明しました、おびひろ薪能公演を行うこと。きずなづくり・まちづくりの方で、これまで市民オペラや市民バレエなど概ね5年毎に大きな公演をしておりましたけれど、人材の確保、技術やレベルの継承も含めて、それに先立つ取り組みということで、ガラコンサート、バレエプレ公演などの支援、市民の芸術文化活動の継続的な取り組みを応援していこうという形で、従前の5年毎に予算をつける形からは変化させて行わせていただきます。クラブユースサッカー選手権大会も次年度から参加チーム数を増やし、継続開催していただけることになっておりますので、更なる街への賑わいが

創出されるのではないかと考えております。大会については、日本学生氷上選手権大会という大学のスケート競技大会も開催されることになっており、これの経費支援も一部行う予定でございます。また、動物園が開園50年ということでアムールトラの導入をし、人気のホッキョクグマと合わせて、更に入場者数が増えればと思っております。50年を記念した事業についても、今、標示の仕方や遊具をきれいにするなど準備しております。施設整備関係につきましては、部長からも説明がありましたように、昨年度、陸上競技場のトラック更新で1億4千万円ほど使っておりまして予算は減額しております。新年度につきましては、百年記念館で示しておりますけれども、各施設について劣化度調査を行って、効果的な修繕を図っていこうという全庁的な取り組みを新年度から行うということで、百年記念館も劣化度調査の対象になっており、改めて施設の再整備計画を立てていこうということです。また、総合体育館については、来年度本格的に建設に向けた基本調査に乗りかかりたいということで、配置の場所、望まれる施設など、コンセプトを明確にしていきたいと考えています。以上です。

市之川委員

市民オペラ、ガラコンサート、市民バレエは、帯響も関連していると思うのですが、まだ、全然話しが上がってこないのですが、これはやるという前提なのでしょうか。

鈴木 課長

予算付けの関係もございまして、まだ、対外的には説明されてないと聞いております。演目等もまだ決まっておりません。これから実行委員会の中で決めていくということでございます。

市之川委員

分かりました。もう1つ、モスクワフィルハーモニーの公演がありますけれども、ヨーロッパのオーケストラを連れて来るのは非常にお金がかかるので、共産圏の方が価格的に安いので決まったのだらうと思うのですが、札響が260万円に対して、モスクワがこの金額なのかと思ったのですが、どうなのでしょう。

敦賀調整監

モスクワの方は日本に来て北海道などの複数の地域で公演する中で一部負担という形になります。札響の方は演奏会もそうですけれども、こちら側のリクエストで学校に回ってもらうなど、かかる経費を全額帯広側で持つということです。距離は近いのですけれども、そういった密度の問題で予算の開きがでてございます。

市之川委員
門屋 委員

分かりました。
全体のことでお聞きしたいのですが、市長査定が済んでこういきましようとなると思うのですが、当初こちら側でやりたいと思って計画を立てて、やれなかったことはないかもしれませんが、予想以上に少なかったとか、教育委員会としてやりたいのだけれども、なかなかできないでいるような話があれば聞かせていただければと思います。

須貝 部長

学校教育関係、ソフト、ハード面幅広く事業を持っています。先ほども学校のリニューアル関係のお話がありました。老朽化が進んでおり、私どもとしても少しでも早く対応していきたいと考えております。ご承知かと思いますが、グラウンドの関係でも、雨が降ったらなかなか水が引かないため、先生方も非常に苦勞されております。予算要求のときに計画的に行いたいということで要求してございます。ただ、厳しい財政状況の中で、1箇所だけでも非常に高額な事業費が掛かります。例えば、四中で9千万円くらいということで、市費で予算を持つということについては、かなりの額になるということになります。ソフト面についても帯広市はこれまでも力を入れてきた部分でございます。それについては、私どもも優先度を高めに手厚く要求してございます。しかしながら、就学援助など、話題になっている部分がありますけれども、国の補助ではなくて、地方自治体の財源で賄っている準要保護者の対応につきまして、国の要保護者世帯と同一ではない部分が若干あり、できるだけ同じような形で考えてはいるのですけれども、帯広と同じような規模、それ以上のマチでは、かなり財政的に厳しく、同様の措置は取られていないという状況がございます。制度上の問題もございますので、自治体だけで解決するのは難しい部分がございます。必要性を認識しつつ、なかなかできない部分もございます。先ほどお話をさせていただいた学校図書の整備については、実情を市長部局でも認識していただいて、例年の倍の予算がついてございます。できる部分は今後もしっかり要求して、できるだけ子どもたちのために充実した教育環境を作りたいと考えてございます。

大久保部長

生涯学習部の関係では、施設を抱えてございまして、今年、動物園が50周年を迎えます。百年記念館が昨年30年、文化ホール、図書館、とかちプラザがございまして、年数が経ってきている施設は老朽化し劣化してきております。百年記念館については毎年雨漏りしております。今回、劣化度調査ということで全庁的に取り組むということで、予算づけさせていただいておりますけれども、できるだけ早く修繕させていただきたいというのが実態でございまして。百年記念館では収蔵するスペースがなくなっているということで、できるだけ経費がかからない形で予算要求をいたしました。また、動物園につきましては、50年ということですが、動物の入っていない獣舎の撤去等を含めて予算要求しているところですが、どちらも全体の優先度合いの中で、次年度の予算化は見送られたところがございます。なお、施設の配管の漏水につきましては、3年くらいかけて直す予定をしております。また、今年は開園50年ということで観覧車の塗装をする予定をしております。文化ホールにつきましては、備品が古くなってきておりますが、なかなか

予算が難しいところがございます。とかちプラザについては、他の施設と比較し、それほど経ってございませんが、施設改修等については、金額的に何千万となるの状況で予算化が難しい状況にあります。施設の安全管理を第一にしながら、市民の皆さんに來場していただける施設管理をしなければならないと思っております。

田中委員長

教育用のコンピュータの件で、2台に1台はまだ私用ということでしたが、USBメモリーなどで外へ持って行ってしまったり、どこかに置き忘れて、漏れてしまったなどの事例をよく聞くのですけれど、帯広市教育委員会の場合は、個人情報保護の対応はどうなっていますか。

西野 課長

先ほどお話ししましたように、先生方は今、2人に1台となっているものですから、外部への情報の持ち出しについては、基本的には禁止しています。どうしても家に持ち帰る場合については、校長の許可を得まして、セキュリティ機能の付いたUSBメモリーを配置しておりますので、そのメモリーを使うということで、そういった場合には対応しております。

伊藤 委員

これからも予算編成にあたっては、各委員からの意見も踏まえた予算編成をしていただくようお願いいたします。

八鍬教育長

特に生涯学習部については、部長から、施設が多く、しかも大型ということで、維持管理、経年劣化の予算獲得の課題も多いと申し上げさせていただいたとおりです。教育委員会として、特に生涯学習部は市民の方が訪れる機会が多いですから、何よりも安全管理を大事に考えていかなければなりません。劣化度を勘案しながら予算要求をしていくわけですが、全庁的な総体の予算の中で、ある程度考えていかなければなりません。教育委員会として、しっかりと要求を上げさせていただいているのは事実でございます。建物やソフトも含めて、教育費予算全体の中で、どう優先度合いを決めていくかということは、毎年考えていかなければならないことでもあります。建物は安全であることが第一ですので、常にリニューアルは難しいと思っておりますが、現状認識、課題を浮き彫りにして、限られた予算の中で最大の効果を上げていくための優先度合いをはかっていかなければならないと思っております。委員からお話があったように、帯広の施設の現状、課題について、ソフト、ハードも含めて、共通認識に立っていただくような工夫をこれからも進めていきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。

田中委員長

他になれば、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第7号、平成25年度帯広市一般会計予算については、原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第7号は了承されました。

日程第7、議案第8号、帯広市教育委員会教育長給与等条例の一部改正についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

須貝 部長

議案第8号、帯広市教育委員会教育長給与等条例の一部改正についてご説明申し上げます。議案書39ページをご覧ください。本案は、帯広市教育委員会教育長の給料及び退職金について減額するため、条例の一部を改正しようとするものであります。特別職の給与につきましても、極めて厳しい財政状況の中、臨時的な引き下げに取り組んでいるところでありますが、依然として厳しい状況であることを踏まえ、給与の減額を継続するものであります。加えまして、退職手当の支給率の引き下げを行うものであります。教育長の給与につきましても、平成25年度においても、平成24年度と同様に10%臨時的引き下げを継続し、本来の給与は71万円でございますが、給料月額を63万9千円とし、また、退職手当の支給率については、15%減額し、100分の30を100分の25.5とするものであります。これに伴い退職手当の基礎となる給料月額について、見直しを行うものであります。なお、これらの改定につきましては、平成25年4月1日から実施するものであります。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長

これから質疑に入ります。

伊藤 委員

すべての特別職がこういう形で進められるのですか。

須貝 部長

今のお話しのとおり、特別職すべて同じような考え方で削減していくということでございます。

伊藤 委員

分かりました。

田中委員長

別になければ、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第8号、帯広市教育委員会教育長給与等条例の一部改正については、原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

田中委員長

ご異議なしと認め、議案第8号は了承されました。

日程第8、議案第9号、帯広市職員定数条例の一部改正についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

須貝 部長

議案第9号、帯広市職員定数条例の一部改正についてご説明申し上げます。議案書41ページでございます。本案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を聴こうとするものであります。議案書42ページの帯広市職員定数条例の新旧対照表のうち、教育委員会関係分を記述しております、第2条第1項

第7号をご覧いただきたいと思います。本案は平成25年度の職員定数を調整し、その結果として、職員配置計画に基づいて、全庁的な職員定数を改正するものでございます。教育委員会の事務部局の職員のうち、アに記載のある、教育委員会の事務局及び学校以外の教育機関の職員につきまして、改正前131人から改正後130人の1名の減とするものであります。また、イの記載にある、教育委員会の所管に属する学校の職員につきまして、改正前78人から改正後77人の1名の減とするものでございます。以上よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

田中委員長
各委員
田中委員長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第9号、帯広市職員定数条例の一部改正については、原案のとおり了承することにご異議ありませんか。

各委員
田中委員長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第9号は了承されました。

これより会議を秘密会といたします。

(以下、非公開)

田中委員長
各委員
田中委員長

事務局からの説明は以上であります。この際、各委員から他にご意見、ご質問等があればお受けいたします。

ありません。

別になければ、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。

以上で平成25年第2回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。